

今年度の各部署の取組状況（平成 25 年 3 月 25 日現在）について

※下線部分は前回本部員会議(10月)以降の変更箇所

1 職員の派遣（平成 24 年 4 月以降）

○ 県職員

派遣先	職種	人数	期間
宮城県	一般事務職	2名	H24. 4. 1～H25. 3. 31
	農業土木職	2名	
	水産職	1名	
	<u>水産職 ※1</u>	<u>1名</u>	<u>H24. 8. 1～H25. 1. 31</u>
	<u>電気職 ※2</u>	<u>1名</u>	<u>H24. 10. 1～H25. 3. 31</u>
岩手県	一般事務職	1名	H24. 4. 1～H25. 3. 31
岩手県大船渡市	化学職	1名	H24. 4. 1～H25. 3. 31
<u>3月25日現在 8名</u>			

※1 2ヶ月交代でのべ3名を派遣

※2 3ヶ月交代でのべ2名を派遣

○ 警察

派遣先	職種	人数	期間
福島県警察	機動隊	<u>261名</u>	H24. 4 月以降延人数
岩手県警察	警察署	7名	H24. 2. 1～H25. 3. 31 (出向)

○ 市町職員【消防職を除く】

派遣先	支援業務の主な内容	人数	派遣元市町名	
宮城県	石巻市	下水道復旧支援	1名	四日市市
		<u>家屋の固定資産課税業務</u>	<u>1名</u>	<u>鈴鹿市</u>
		土地並びに家屋の調査及び評価に関する業務	1名	伊賀市
		<u>家屋の固定資産課税業務</u>	<u>1名</u>	<u>菰野町</u>
	多賀城市	固定資産(家屋)課税業務	1名	伊賀市
		駅前整備事業(補助申請、用地買収)	1名	東員町
		道路・下水道等公共施設の災害復旧・復興業務	1名	亀山市
山元町	震災復興事業に係る工事に関する業務等	2名	津市	
福島県	新地町	区画整理、集団移転事業	1名	四日市市
	相馬市	<u>建築工事の設計、積算、工事監理</u>	<u>1名</u>	<u>菰野町</u>
<u>平成 25 年 2 月末現在 計 11 名</u>				

2 被災地支援

【防災対策部】

- 津市河芸総合支所の旧町議事堂机・椅子の寄付申し出について、宮城県内市町村へ照会（4月11日）
- 一般からの詩集の無償配布の申し出について、河北新報社へ記事登載依頼（5月23日紙面掲載）
- 津市福祉施設から大槌町への寄附の仲介（米 360kg 及び千羽鶴）（10月4日）

【健康福祉部】

- 共同募金会、日本赤十字社の募金箱を県本庁舎及び各総合庁舎に設置（H23年度～）
 - ・ H24年度分 97,452 円(3月1日現在)
- 県民の方から同意をいただいた義援金を、「東日本みやぎこども育英募金」に寄付（H23年度～）
 - ・ H24年度分 2件 201,601 円
東日本大震災チャリティイベント in 伊勢安土桃山文化村実行委員会 130,101 円
三學講堂（台湾のお寺） 71,500 円

【環境生活部】

- 岩手県陸前高田市内中学校で津波被害を受けた美術品4点を受け入れ、修復（23年11月～平成24年 11月）
- 第18回三重県全国俳句募集事業で、特別企画として「東北応援の一句」を同時募集。（5月16日～10月18日（学校応募は12月18日まで））
「東北応援の一句」の募集句数は、13,334句で審査・選考を経て3月中に入選句を発表。
- 「みえ災害ボランティア支援センター」の活動
 - ・ ボランティア活動支援金の募集（4月1日～2月末現在 計983,087 円）
 - ・ ボランティアバス「みえ発！ボラパックⅡ」の実施（第1便～第25便 計427名）
 - ・ 「山田町ではってマップ」第3号～6号の配布（4月1日～）
- 文化財レスキュー等のニーズがあり次第対応 (対応実績なし)
- 災害廃棄物の広域処理
 - ・ 県、市長会、町村会の三者で災害廃棄物（がれき）の広域処理に関する合意書、覚書の締結（4月20日）、宮城県、岩手県と確認書を締結（4月27日）
 - ・ 災害廃棄物処理ガイドラインを策定・公表（6月7日）、三重中央開発(株)に災害廃棄物焼却灰の受け入れを要請（7月13日）
 - ・ 環境省から、岩手県久慈市の可燃物2,000トンの処理の要請（8月7日）
 - ・ 受入検討市町等との共同で住民説明(7月～1月)、住民現地視察を実施（9月25日）
 - ・ 風評被害専用相談窓口、三重県災害廃棄物広域処理連絡会議の設置（8月）、消費団体等に対する協力依頼(9月)、リーフレットの作成（9月、1月）、パネル展の開催（10月～1月）、各種メディア（ラジオ、テレビ、県広報、新聞）での周知等、災害廃棄物広域処理に関する風評被害対策の実施
 - ・ 環境省から通知があり、久慈市の広域処理対象廃棄物は秋田県での早期処理に目途がついたことから、三重県の広域処理が必要なくなったことについて発表（1月25日）
- 久慈市の物品を対象とした物産展の開催（11月～ 3カ所）
- 久慈市の被災・復興状況、三重県の支援状況と併せて久慈市の観光についてのパネル展示の実施（2月～3月）

【農林水産部】

- 被災した農業者の受入定着を支援（通年）
- 農林漁業就業・就職フェアにおいて東日本大震災被災者のための個別相談コーナーを設置（7月14日）

【雇用経済部】

- 「La Festa Primavera 2012」で被災地への募金活動を支援（4月21日～24日）
- 「東日本大震災チャリティイベント in 伊勢安土桃山文化村」で被災地への募金活動を支援（5月19日、11月23日）
- 「第一回全国やきものフェア in みやぎ」への三重県ブース出展と出展事業者による寄付金（8月18日から22日、参加県内事業者 10者）
- 「リーディング産業展みえ 2013」において「災害復興支援コーナー(ブース)」を設け、東北3県(岩手県、宮城県、福島県)の特産品販売と、久慈市の観光PRを実施(平成25年2月13、14日、売上計288,900円)
- 「ワクワク！うまし発見フェスタ～みえの地域づくり大集合～」で、久慈市の観光PRを実施(平成25年3月2日)
- 被災企業等の操業支援窓口の設置（通年）
- 被災企業の事業継続への支援（通年）
- 東北地方の観光パンフレットの配布及び物産販売（通年）

【教育委員会】

- 気仙沼市及び南三陸町へのスクールカウンセラーを派遣（4月～）
- 中学生ボランティアを宮城県・岩手県に派遣（8月）
- 宮城県の中学生を招待し、「子ども防災サミット in みえ」を鳥羽市及び志摩市で開催（8月）
- 高校生2名を「ハイスクールサミット in 東北」(宮城県、8月)に派遣

【警察本部】

- 機動隊の派遣（H24年4月23日～5月9日 68名 福島県警察）
（H24年7月30日～8月8日 68名 福島県警察）
（H24年10月22日～11月7日 63名 福島県警察）
（H25年1月26日～2月7日 62名 福島県警察）
- 警察官の出向（H24年2月1日～H25年3月31日 7名 岩手県警察）

3 県内避難者支援

【全体的事項】

- 避難者数 (H25年3月25日現在)
岩手県 117名 宮城県 56名 福島県 210名 茨城県 69名 千葉県 16名
栃木県 16名 埼玉県 5名 神奈川県 3名 計 492名（前回本部員会議9月末時点 501人）

○ 避難者住宅提供

発災以降、「三重県被災地住民住宅・一時的滞在場所情報提供窓口」を設置し、被災地住民に提供できる住宅に関する情報の収集と発信を実施している。

提供可能な住宅は、民間も含め情報収集し、随時相談を受け付け、あっせん等の対応している。

【防災対策部】

○ 避難者の総合相談窓口として、三重県を避難先として検討している方に対し、一時的避難場所等の情報を収集・提供し、円滑に手続きが進むようサポート（通年）

○ 避難者に対して、避難元自治体からのお知らせ、県やボランティア団体からの連絡事項などを情報提供できる体制を整えるとともに、ボランティア団体と連携し、避難者同士のネットワーク構築を推進（通年）

○ 県内避難者からの相談（4月～21件）

4月 4件 再避難の相談2件 滞在期限切れ2件

5月 4件 家賃の相談1件 再避難の相談1件 放射能による健康被害2件

7月 2件 放射能による健康被害1件 短期宿泊施設の利用1件

8月 2件 地域からの差別の相談1件 高校入学及び寮費の減額措置1件

10月 3件 再避難の相談2件 滞在期限切れ1件

11月 1件 再避難の相談1件

12月 1件 再避難の相談1件

25年1月 1件 避難者同士の集いの確認1件

2月 3件 宮城県へ帰省時の交通費補助の照会1件 住宅支援制度の照会2件

○ NPO「ハハプロジェクト」開催の避難者支援行事への知事出席（4月15日）

○ 県、みえ災害ボランティア支援センター、ボランティア団体等からのお知らせを、市町を通じて避難者へ配布（5月～30件）

5月 3件 みえ災害ボランティア支援センター1件 福島県1件 三重県司法書士会1件

6月 4件 みえ災害ボランティア支援センター1件 ボランティア団体2件
日本司法支援センター1件

7月 1件 資源エネルギー庁1件

8月 2件 宮城県1件 全国県人会1件

9月 3件 宮城県1件 福島県1件 岩手県1件

10月 4件 宮城県1件 福島県2件 岩手県1件

11月 6件 ボランティア団体1件 宮城県1件 福島県3件 岩手県1件

12月 2件 宮城県1件 福島県1件

25年1月 3件 宮城県1件 福島県1件 東海税理士会1件

2月 2件 宮城県1件 福島県1件

【健康福祉部】

○ 災害救助法に基づく被災県からの応援要請に応じ、市町等との連絡調整、避難者への住宅の提供等を実施（前年度～）

・被災者への住宅の提供 5世帯17名（うち3世帯12名は平成24年度から）

○ 被災地からの避難者向けに、ホームページで福祉関連情報を提供（前年度～）

- 県内への避難者に対し、心のケアに関する相談窓口について市町を通じて周知（5月8日）

【環境生活部】

- 「みえ災害ボランティア支援センター」の活動
 - ・ 県内避難者支援「みえで仲間をつくり隊」を開催（5月、10月、11月、3月）
 - ・ みえ東日本大震災支援団体連絡会「つながろう三重」連絡会を開催（5月、7月、9月、12月、1月）
 - ・ みえ東日本大震災支援団体連絡会「つながろう三重」勉強会を開催（5月23日、今後も随時開催）
 - ・ 「コープみえ くらしたすけあいの会」と協働で、生活支援事業を実施（7月～1月末まで）

【地域連携部】

- 全国避難者情報システムの運用（平成25年2月28日現在、県内で 336名が登録）

【県土整備部】

- 被災者を対象に、鈴鹿青少年の森において炊飯場の利用料金を免除（通年）

【教育委員会】

- 被災児童生徒等の小中学校等への転入を支援（通年）
- 被災地域の高等学校等の生徒で、保護者等の転居、親族家族への避難等により本県の県立高等学校等への転入学を希望する者に柔軟に対応（通年）
- 被災者を対象に、三重県立青少年教育施設（鈴鹿青少年センター・熊野少年自然の家）の宿泊料金及び施設利用料金等を免除（通年）

4 その他

【防災対策部】

- 県民からの支援物資について、被災地へ搬出するまでの集積保管場所として自社倉庫を無償で提供いただいた日本トランスシティ株式会社に対し、感謝状を贈呈（4月12日）
- 県ホームページ「東日本大震災に伴う支援に関する情報」の更新管理
- 震災により被害を受けた子どもたちによる書道作品の展示（6月22日～28日 県民ホール）
- 宮城県松島町長 企業庁長訪問（7月25日）
- 宮城県南三陸町長 知事訪問（8月6日）
- 「うつくしま復興大使」知事訪問（12月26日）
- 「みえの現場・すごいやんかトーク」において、東日本大震災の支援活動に取り組んでいる方との意見交換（1月20日）
- 「全国タスキリレーIN三重」全国学生プロジェクト（JASP）三重支部の知事表敬訪問（2月19日）
- 「東日本大震災被災地支援について」FM三重放送に知事出演（3月11日）
- 東日本大震災二周年追悼式を県庁講堂にて実施（3月11日）

【健康福祉部】

- 県内4カ所の空間放射線量率測定結果、及び水道水・降水物（大気中の雨水やちり等）の人工放射性物質の測定結果について、ホームページで情報を提供（前年度～）

- 県内に流通する被災県からの食品に関する放射能測定を実施（5月21日～）
- 保育所の給食一食全体について、放射性物質の有無や量の事後検査を実施する市町に対し、補助を実施(10月1日～) → 13市町に対し、補助実施見込み

【環境生活部】

- みえ災害ボランティア支援センター東日本支援活動報告会の開催（3月17日）
「三重からみつめた東日本大震災～被災地・被災者・避難者の2年、そして今～」

【農林水産部】

- 津波被害を受けた県内漁業者に対し、過去の債務の借換促進及び養殖施設、定置網等の復旧を支援

【雇用経済部】

＜県内産業への対応＞

◆中小企業への対応

- 工業製品に関する残留放射能測定の実施（通年）

◆観光業への対応

- 震災で落ち込んだ県内への観光誘客を促進するための大都市圏の主要駅等での観光情報発信（通年）
- 海外誘客のための ICT を活用した情報発信（通年）

【教育委員会】

- 学校給食一食全体について放射性物質の有無や量の事後検査を実施（9月10日～2月28日）